

創立日尚浅く、組織部、調査部、婦人部、教育部、國際部等の活動は十分出来なかつた。太平洋労働組合會議に、ついでは何等の勧誘状も受けてゐない。

國際労働會議は利用の價值なしと思つたが、右翼運動破壊のため利用したのである。

以上の報告に對し二三質問の後、本部報告を承認し、議事に入る。

議 事

(一) 日本労働党積極的擴充に關する決議案
 (本部提出) 麻生久説明 可決。

理由 組合同盟は日本労働党を支持する所以は一言にして盡さず。即ち日本労働党は我々が無産階級、政治行動を指導する大衆的にして階級的政党であり、此に我等は單一無産階級の基礎を見出すが故である。而して、我組合同盟は日本労働党に與へられたかゝる使命を果すが爲めに世に於て、三條件を見出す。

- (1) 組合同盟は之を構成する組合は全國的にあり且つ之れが統一あること。
- (2) 構成する組合は地域的並に産業別的に鞏固たる基礎を有すること。
- (3) 従つて経済闘争に於ては充分に維持し來ること。
- (4) 階級的立場の明確なること。
- (5) 従つて政治闘争に組合員の勢力を充分に傾注し得ること。

実行方法

- 一、党支部未組織地域にある組合員にして党員たるものは組合政治部と連絡をとり党支部組織に採する指令を即時実行すること。
- 二、党員は常に支部に積極的に働かせること。
- 三、党員は党支部の組織化教育闘争による訓練に主力を傾注すること。

(二) 組合同盟と日本労働党との關係並に組合同盟關係の党役員に採する決議案

(本部提出) 望月孫治説明 可決。

理由